



しろさと 農業委員会だより

第11号

平成25年1月15日発行
編集
農業委員会運営委員会
発行
農業委員会事務局



笠間普及センターでの研修の様子

【新規就農者の情報を交換・共有する組織を設立】

昨年、城里町内の新規就農者・Uターン・新規参入者等の就農者十数名が、悩みや情報交換等を「ゆるやかなネットワーク」で共有する組織として「ホルネットワーク」を設立しました。
今後、情報交換会を随時開催し、各会員のやりたいこと、聞きたいことを共有していくようです。



ごあいさつ
会長 富田 昇

平成二十五年の新春にあたり、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

震災から早や二年を迎えようとしており、被災地では今もなお不自由な暮らしを余儀なくされている方へ思いを心にとどめると共に、復興への道のが確かなものとなることを願うものです。

一方で昨年の本町農業を振り返りますと、夏の猛暑と干ばつによる農産物の品質低下、放射能による出荷規制を解除された農産物も未だに風評被害を受けている状況であり、町としても県・関係団体とも連携して販売促進やPR活動への取り組みを進めているところであります。

我が国の農業を取り巻く環境は、規模拡大が進まない中での高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加により、大変な危機にさらされていることを実感いたします。昨年末の国政選挙で政権交代があり、国内農業にとりまして希望が持てる農政と向かうことを願うものです。

城里町には、美しい水田と畑があり、かけがえのない農地を未来の世代に引き継ぐため、地域農業者の代表者機関として尽力して参りますので、今後ともご支援を頂きますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方にとりまして、良き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

主な内容

- ・町長へ建議書提出・・・・・・・・・・2
- ・委員視察研修報告・・・・・・・・・・2
- ・女性農業委員の活動・・・・・・・・・・2
- ・農業委員活動報告・・・・・・・・・・2
- ・農地の貸借等情報について・・・・・・3
- ・耕作放棄地再生作業の助成・・・・・・3
- ・農業者年金制度・・・・・・・・・・4
- ・人・農地プラン・・・・・・・・・・4

農地法の申請等の受付締切日は
毎月10日です！

定例総会は、毎月25日です。



(受付締切日、定例総会ともに、土日祝日にあたる場合は、翌平日の開庁日となります)

町長への建議書提出

平成二十四年十一月二十九日、富田昇会長から阿久津藤男町長へ「平成二十五年城里町農業施策に関する建議書」を提出しました。

今回の建議の内容は、次のとおりです。

- ① 東日本大震災等被害に対する復旧・復興
- ② 基本農政の確立対策
- ③ 農地の保全と有効利用対策確保対策
- ④ 担い手・経営対策
- ⑤ 地域振興対策
- ⑥ 農業委員会組織対策

建議書においては各地域の農業委員の意見・要望を取りまとめ、作成し、総会で決定されました。



阿久津町長に建議書を提出する富田会長

委員視察研修の報告

去る平成二十四年十一月六日に山形県天童市農業委員会の耕作放棄地解消のための優良事例の取り組みを、七日には同県JA大江農産物加工所の六次産業の経緯と今後の計画について視察しました。

天童市片桐会長から、耕作放棄地は市民に地域全体の問題として認識してもらい、関係機関皆で調査解決すること。農産物加工所では、地元農協婦人部の野菜切れ端の「もったいない運動」が、認められ首都圏・関西圏へ出荷し成功していることを聴きました。

全国農業新聞を購読しましょう！

全国農業新聞は、経営や暮らしに役立つ情報がいっぱいの農業専門誌です。
発行日 毎週金曜日
購読料 一カ月 600 円
申込み 各農業委員 または農業委員会事務局

二日間有意義な研修ができた今後の活動に生かして行きたいとおもいます。



天童市役所正面玄関前にて
(前列 左から 2 番目 天童市農業委員会会長)

女性農業委員の活動

県内の女性農業委員四十四名で構成する「いばらき女性の会」の、平成二十四年八月三十日第八回定例総会において、鯉渕善子委員が副会長に就任いたしました。

農業委員活動報告(六月～十二月)

- 六月
 - 十八日 茨城県農業会議第一四六回臨時総会
 - 二十一日 第五回運営委員会
 - 二十五日 第六回農業委員会総会
- 七月
 - 三・四日 中央地区農業委員会総会
 - 二十五日 第七回農業委員会総会
- 八月
 - 七日 茨城県農業会議定例総会
 - 二十七日 第八回農業委員会総会
 - 三十日 いばらき女性農業委員の会総会
- 九月
 - 二十五日 第九回農業委員会総会
- 十月
 - 五日 平成二十五年年度国県農業施策県知事への要望活動
 - 十六日 県市町村農業委員会会長・事務局長会議
 - 二十五日 農業者年金研修会
- 十一月
 - 三十一日 第十回農業委員会総会
 - 新任農業委員研修会
- 十二月
 - 六・七日 農業委員視察研修
 - 十五日 第六回運営委員会
 - 二十六日 第十一回農業委員会総会
 - 十二月十七・十八日 いばらき女性農業委員の会県外視察研修
 - 二十五日 第十二回農業委員会総会

農地の貸借等情報 H24.12.1 現在

「後継者がいない」「高齢となり耕作できない」等の理由により、農地の貸付・売却を希望する農地は年々増加しています。

下表は、8月に行った農地法第30条調査で「他の農家へ貸したい・売りたい」の希望があった農地の情報です。そのほか、貸付希望カードの提出があった農地も含まれています。

Table with columns for region (常北地区, 桂地区, 七会地区), town (大字), land type (地目), number of plots (筆), and area (面積). It lists various agricultural plots across different regions.

「農業を始めたい！規模を拡大したい！」とお考えの方は、農業委員または農業委員会事務局にお問い合わせください。

助成内容や要件等詳細については、耕作放棄地対策協議会（町産業振興課 電話029-288-3111 内線382）にお問い合わせください。

- ・再生作業を行う経費が10万円あたり十数万円以上必要な耕作放棄地であること。
・農振農用地内の農地であること。
・土地の所有者に代わり再生事業を行い、5年間以上耕作すること。

〇使われてない畑・水田等（耕作放棄地）を農地として活用する場合には、助成金が交付されます。
〇農業用ビニールハウス・果樹棚の設置や市民農園等の設備費用も助成の対象です。

耕作放棄地を農地として活用する取り組みに助成があります

老後の備えは

農業者年金で安心

日本人の平均余命は、

男性が八十四歳

女性が八十九歳です。

な生

農業者年金は終身年金
ので、原則 65 歳 から
涯受け取ることができます。

農業者の老後生活の収入は、
国民年金 + 農業者年金で
しっかりカバーします。

農業者年金は、①六十歳未満
で②国民年金第一号被保険者
③年間六十日以上農業に従事
している方ならどなたでも加
入できます。

農業者年金の内容や詳細に
ついては、地区農業委員また
は農業委員会事務局にお問
合わせください。

★「人と農地の問題」を解決するための新しい支援事業が開始されました★
一人・農地プランを作成しますー

■はじめに■

農業を取り巻く状況をみると、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えています。このような中、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要があります。

■人・農地プラン■

人・農地プランとは、国が新たに策定した事業であり、人と農地の問題を解決するための未来の設計図です。地域ごとに「今後の中心となる経営体はどこか」、「中心となる経営体へどうやって農地を集めるか」などについて話し合い、プランを作成してこれからの地域農業のあり方を考えていただくものです。

■人・農地プランに位置づけられると受けられる支援■

○青年就農給付金

経営が不安定な就農直後の所得を確保する給付金を給付します。

○農地集積協力金

人・農地プランに位置づけられた経営体に農地を貸し出す農家に協力金を交付します。

○スーパーL資金の金利負担軽減

貸付当初5年間の金利負担を軽減します。(認定農業者の方)

※給付金や協力金にはさまざまな条件があります。

■城里町の進め方■

城里町内を7つの地区に分けてプランを作成する予定です。今後地区ごとに、関係する農業者の皆様や農家の方々を対象に順次説明会を開催していきます。

<問い合わせ先>

産業振興課 農地・農政グループ 電話 029-288-3111 (内線 382)

関東農政局水戸地域センター 農政推進グループ 電話 029-221-2186

城里町農業委員会事務局
〒311-4303
城里町石塚1428-1
コミュニティセンター城里
電話 029-288-3111
(内線 361. 362)
FAX 029-288-2362

ばつ業とりがおいを富テ「岡 昨
となが全にがい果二 田米スト 県 年
願が体によがしいた年 昇会「お 十
うがのよつ明しお二 会日米 月
もの活つて、いお連 長本一 一
です。性たの米米 賞会コ 月
れに農ここづくの 賞のン 月
に農ここづくの 賞のン 月
に農ここづくの 賞のン 月

編集後記